

コミュニケーションマーク誕生

開拓者精神や北海道を表現 北海学園大学の新しいイメージづくりへ

マークを構成する3つの要素

雪

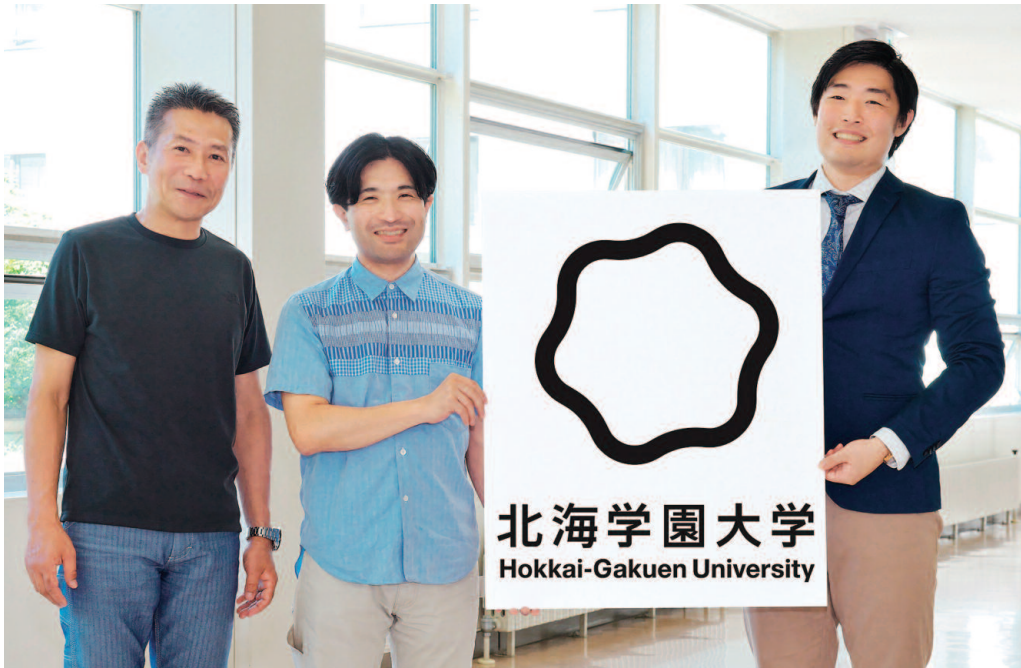
コミュニケーションマークは六角形。北海道の大自然を象徴する雪の結晶も六角形です。蜂の巣や亀の甲羅など自然界にも存在する六角形は、辺と辺を合わせ 360° 無限に広げることができ、北海学園大学の多様なコミュニケーションを表しています。

開拓者精神

北海学園大学の建学の精神は「開拓者精神」です。コミュニケーションマークは現代版「北辰旗」をイメージしています。北辰旗とは開拓使の旗印で、赤い五稜星は北海道開拓使の不屈のエネルギーを、また北海道旗は七稜星をモチーフに開拓者精神と北海道の未来を表しています。

北極星

コミュニケーションマークは大学所在地の緯度(北緯43°)分傾いています。北緯とはその地点から見上げた北極星の角度と一致しており、いつも変わらず北を示す目印です。北極星は不動、普遍的真理。悟りや気づきへの道しるべとして古来から尊重されてきました。



工学部建築学科教授 原井 憲二

東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。エコール・デ・ボザールアート専攻修了(フランス)DNSEP取得。専門は絵画・現代美術。コミュニケーションマーク制定委員会チーフ。

クリエイティブ・ディレクター 佐々木 信

本学人文学部英米文化学科 平成8年度卒・1期生。デザイン制作会社3KG代表。主なデザイン実績:札幌市の「SAPPORO(サッポロスマイルロゴ)」、AIRDOのマスコット「ベア・ドゥ」、札幌市交通局のICカード「SAPICA」など。

入試部入試課 主任 松田 郷平

北海道高校卒業。本学経済学部経済学科平成21年度卒・II54期生。入試・広報業務全般を担当。北海学園大学コミュニケーションマーク制定の発案者。

今年5月、北海学園大学をより多くの皆さまに知っていただくための「コミュニケーションマーク」が誕生した。このマークの制作を担当した本学OBでデザイン会社「3KG」代表の佐々木信氏と、コミュニケーションマーク制定委員会チーフの原井憲二学部長が、入試課・松田郷平主任の3人に、マークに込められた想いや可能性を聞いた。

「コミュニケーションマーク誕生までの経緯を。」
松田 入試課では入試業務のほか広報の仕事があり、コミュニケーションマークを広報戦略の一つとして使いたいと思い私が課内で言いだし、入試課として提案しました。学内にコミュニケーションマーク制定委員会を立ち上げ、デザインは人文学部の一期生で、札幌市のサッポロスマイルロゴや「SAPICA」などのデザイン実績がある3KGにお願いしました。原井先生はチーフとして関わっていただき、最終的には協議会の承認を得てこのマークが誕生しました。

「デザイン制作はどのように進めていったのですか？」
佐々木 昨年の7月、月1〜2回のミーティングから始めました。私はこの卒業生なんです。が、そんなに真面目に大学へ行っていない(笑)。正直、大学に対するイメージが湧かなかった。それです。北海学園大学はどういう大学かという話し合いから始め、そこにすく時間がかかりました。

「一番議論した点は？」
佐々木 いろいろ伝えたいことがあって、それを直接説明するような具体的なデザインにするか、それとも抽象的なデザインにするか、そこを一番議論しました。

「抽象的なデザインのマークに決まりましたが、このマークの意味するものは？」
佐々木 北海道の自然を象徴する雪の結晶の六角形の要素を入れ、校章についていた星や開拓使が使っていた「北辰旗」の星のイメージを取り込んで開拓者精神を表現しました。さらに、北緯43度の傾きを入れて、そこからいつも変わらず北を示す北極星の、不動の道しるべや普遍的真理を表しました。

「デザインでとくに意識したことは？」
佐々木 北海学園大学は、道内で知名度は高いけれど、道外ではまだ低い。ですから、全国からの視点という部分を意識しました。

「色も指定せず、黒でも白でもOK。制限は、形を歪形しない、ということだけです。」
原井 みんなが平等に使えるコミュニケーションマークで、コミュニケーションのきっかけになるようなマークができた。それは本当に大きいと思います。

「学生の具体的な使用例を挙げるとどう？」
松田 部活やサークルでぜひ使ってほしいですね。ユニフォームやアメフトのヘルメットにつけたり、応援する人のほつたに書いていたり、みんなが頑張っていたり、楽しんでる気持ちを象徴するものとして使ってもらえたらいいですね。

「マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。」
原井 マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。

「マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。」
原井 マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。

「マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。」
原井 マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。

進化するマーク 自由な発想で活用を

コミュニケーションマーク使用例



「マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。」
原井 マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。

「マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。」
原井 マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。

「マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。」
原井 マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。

「マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。」
原井 マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。

「マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。」
原井 マークの形をしたフラフラしてみたものが一つあれば、使い方がもっと広がると思います。

新訂 市民社会と法

道幸哲也・加藤智章 編著 / 松久三四彦 法務研究科教授 他共著

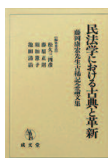


定価 本体二、五〇〇円＋税

放送大学教育振興会

民法学における古典と革新

松久三四彦 法務研究科教授 内山敏和 法学部准教授 他共著



定価 本体二、〇〇〇円＋税

映画は中国を目指す

中国映像ビジネス最前線 / 中根研一 法学部教授 著



定価 本体一、二〇〇円＋税

権力 vs 市民的自由

表現の自由とメディアを問う / 韓永學 法学部教授・大塚一美・浮田哲 編著



定価 本体二、五〇〇円＋税

パワーからグローバル・ガバナンス論

読み解く / 大塚一美・秋山信博 大塚一美・山田教典 井上睦 法学部准教授 他共著



定価 本体二、六〇〇円＋税

アンシアン・レジーム期フランスの権力秩序

蜂起をめぐる地域社会と主権 / 仲松優子 人文学部准教授 著



定価 本体六、〇〇〇円＋税

Ideology, Agency, and Intercultural Communicative Competence

A Stratified Look into EFL Education in Japan / Jeremie Bouchard 人文学部准教授 著



外貨定価 (US\$ 139.99)

Springer

経済学部教授

山田 誠治



「最近の若者は…」とは昔から言われてきたようだが、大学生の学びと教育についても、スマホやAIの普及、学生気質の変化の中で話題にこと欠かない。

トピックス52

「伝える」から「伝わる」授業へ？

する手法と定義され、大学の授業の欠点とされる一方通行の講義という形式より成果が大きいとされる。とはいっても、私の実践ではまだまだ課題山積で、この形式が手放しで評価できるものでもない。

中小企業論Ⅰの目標の一つとして企業分析や会社の見方に習熟し説明力を養う



こと、と掲げるのは簡単だが、一部の受講生約三百名、五十以上のグループを編成し、一定の到達点に至らせるにはかなりの手間と工夫がいる。もともと本学は人数の講義が多いが、私が赴任した三十年前、産業心理学を担当されていた故後藤啓一先生は、平然と一人数の問題

「情報をたぐさんあつたに驚いた」「グループでまとめる大変さを経験できた」と学生の反応は悪くない。ただ、数字の扱い方、分析の妥当性、経営者が聞いたらびびくりするような見当違い、など、そのフォローも含めてさらに工夫が必要で、「伝える」より「伝わる」の探求には終わりが無い。

私大協北海道支部事務局長月例研究会

安酸学長講演

日本私立大学協会北海道支部の第188回事務局長月例研究会が6月26日、本学国際会議場で開催され、安酸学長が「大学のゆくえー真理探究とアカデミック・キャピタリズムの狭間で」と題した講演を行った。



安酸学長の講演に聞き入る出席者

以降、肥大化する研究予算を確保するために、特許による知識の独占や企業からの研究資金の獲得など市場のメカニズムを取り入れ、起業家の大学へと変わっていったという。

いま日本の大学は、少子化や多様化する学生への対応、教育の質の保証など問題が山積し、さらに、国立大学の法人化にみられるように市場原理が導入されている。安酸学長は、「私立大学としてしっかりと経営を考える一方で、大学人としての見識や矜持が必要だ。今一度、自分たちの足下を見直さなければならぬ」と話した。

在日カナダ大使館首席公使来学



在日カナダ大使館ナディア・ブルジェー首席公使が6月28日、本学園を来学訪問した。森本正夫理事長はじめ安酸学長、北海学園各高校・商科大学の代表と和やかに懇談した後、学内施設や、カナダ・レスブリッジ大学交換教員であるガーウィン准教授の授業などを視察した。

実験生物に感謝する日

7月27日、工学部3号館ゼミナール室において、学内関係教職員、学生が参加して、生命科学科の実験・実習に供された実験生物に対する感謝と追悼の意を表する会が行われた。安酸学長が感謝の言葉を述べた後、参加者全員で黙祷。研究・教育の発展が動物植物の犠牲の上に成り立っていることを再認識し、改めて研究・教育に従事することを誓った。



実験生物に黙祷を捧げる

北海学園大学同窓会豊平会 同窓会による奨学生認定証授与

7月3日、同窓会(豊平会)は優秀な学業成績をあげたことが認められた学生19人を第1種奨学生として認定し、森本正夫同窓会長(学校法人北海学園理事長)から、一人ひとりに認定証を授与しました。



授与式には、給付学生、同窓会長をはじめとする同窓会役員、学長、各学部長、教育振興委員長が出席

北海学園大学同窓会第1種奨学金給付学生

学部/学科	学年	氏名	学部/学科	学年	氏名
経済学部/経済学科	2年	岩井澤茉莉衣	法学部/政治学科	4年	西野 真夢
経済学部/経済学科	2年	坂田 十勝	文学部/日本文化学科	4年	篠崎 香織
経済学部/地域経済学科	2年	土田 莉玖	文学部/日本文化学科	4年	平岡 海優
経済学部/地域経済学科	2年	安田 里沙	文学部/英米文化学科	4年	根本 誠士
経営学部/経営学科	3年	工藤 優奈	文学部/英米文化学科	4年	澤口 有香
経営学部/経営学科	4年	山地 泰司	工学部/社会環境工学科	3年	上原 玲音
経営学部/経営情報学科	3年	大谷 桃花	工学部/建築学科	2年	丸山 莉奈
法学部/法律学科	4年	坂田 雄治	工学部/電子情報工学科	2年	白木 涼雅
法学部/法律学科	4年	松尾 渉	工学部/生命工学科	2年	古澤 惇平
法学部/政治学科	4年	金子 省吾			

学業優秀生へ奨学金授与

7月24日、教育振興会は奨学金B(学業成績が特に優れている学生への奨学金)の授与式を行いました。



授与式には、給付学生、学長、各学部長、教育振興委員長、事務部長、大学院事務部長が出席

奨学金B 給付学生

学部/学科	学年	氏名
経済学部/経済学科	4年	佐藤百合子
経済学部/経済学科	4年	及川 闕史
経営学部/経営情報学科	4年	富田 佳那
経営学部/経営学科	4年	和田有希菜
法学部/政治学科	4年	里館 萌
法学部/政治学科	4年	佐藤 康平
文学部/日本文化学科	4年	松田 莉那
文学部/英米文化学科	4年	谷川 亮太
工学部/社会環境工学科	4年	高橋 大樹

賞状の文面は以下の通り。「学生の本分を守り勉勵に努め学業成績が特に優れていることを讃えて、奨学金を授与する。本学が建学の精神と定めた開拓者精神の担い手となるべく、さらに精勵することを期待する。」

北海学園学術研究助成事業報告 ⑥

人口の地方中枢拠点都市
集中時代の
過疎地自治・過密地自治

法学部教授 佐藤 克廣



一九四四年秋田県平鹿郡醒醐村に生まれる。一九七二年秋田県立横手高等学校卒業後中央大学法学部政治学科に入学。同大学大学院法学研究科政治学専攻博士前期課程修了。一九八一年同大学院博士後期課程単位取得退学。同年四月北海道大学法学部専任講師。助教授を経て一九九四年教授。北海道大学大学院法学研究科長を歴任。専門は行政学。主な著書・論文に『ポリティクス基礎行政学(第三版)』(共著)、『指定都市の住民自治の現状と課題』(市政研究)第一八二号、『自治体における公共施設管理の展望』(計画行政)第三九巻二号など。

行政の効率化が招く人口減少

研究のキーワードは、「少子化」「過疎化」「過密化」「自治」であった。「少子化」は最近の課題であると感じられるかもしれない。しかし、一九六九年八月に、厚生省人口問題研究所(当時)は、『わが国人口再生産の動向』と題する中間報告及び「将来人口推計」を矢張り早に発表している。これらの発表では日本の人口が「昭和八五年」90年の間に約一億三千万人でピークを迎え、その後減少すること」「高齢者人口比が増大する

を射ている。ところが、それにそった進路に舵を取ることでできたはずの政府に無視されたか、少なくとも効果のある政策が展開されることはなかった。

一般に人口が密集する都市部では、子育てが困難となり、全国人口に対する東京都特殊出生率は全国平均を下



ポートランド市のNeighborhood Coalitionsの一つSWNIの会議の様子

人口の割合の推移を見てみよう。一九五五年には、東京都人口割合は、8・9%だった。これが65年には11・0%と上昇する。その後やや減少し、二〇〇〇年には9・5%まで減少したものの、21世紀に上昇に転じ、15年には10・6%となっている。二〇一五年における東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の人口は、約3614万人となっており、全国人口の28・4%を占めている。道内でも、二〇〇〇年における札幌市人口の道内人口に対する割合は、32・1%であった。これが上昇を続け、15年には36・3%となっている。二〇一六年の北海道の合計特殊出生率は全国平均を下

今年も豪雨災害が頻発している。7月に西日本を襲った豪雨は梅雨前線によるものであったが、広島、岡山などで死者不明者が二〇〇名を大きく上回り、平成になって最悪の水害被害となって

豪雨災害

2014年度に発表された気候変動に関する政府間パネルの報告書では4つのシナリオを考へ、最悪の場合、今世紀末には4・8℃程度の気温上昇が考えられるとしている。日

度(気温)上昇があり、これでもいろいろな異変が生じているのであるから、4度以上も上昇すると相当深刻な状況となる。これに対応するため原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度上昇を防ぐ必要があるが、各国が協力したとしても当面の上昇は避けられない。



2018年7月 西日本豪雨土砂災害 広島県広島市 (提供: 防災システム研究所 山村武彦氏)



経営学部教授 石井 晴子

2017年9月半ばより半年間「University College London (University of Londonの一部)とされる」の専門職大学院である「教育研究所」(Institute of Education - IoE)で在外研修をしました。

真の「グローバル教育」とは?

私の研究テーマは大きく捉えて「グローバル教育(Global Education)」なのですが、日本では「グローバル」という英語が話せるかどうかあるいは「グローバル人材」のように経済効

理解、他者理解であり、また、課題解決のための思考力と行動力を高める教育です。また、問題意識があるからこそ、対話のための外国語教育が必要となるのです。またこのような「世界の課

果と直接結びつける形で捉えることが多くのように思います。IoEの教育研究の基本は、人権、環境、開発、貧困、難民等の「世界の課題をいかにして自分事(じぶんごと)にできるか、日常の中に見出せるか」の教育であり、その課題解決のための自己

題は日本で海を隔て暮らしてしまつと対岸の火事のように思つかも知れませんが、本当は目の前に迫っている世界の危機であることを、大学院のディスカッションのみならず、ロンドンで暮らしていると痛感します。

さて、ロンドンに暮らす人々の民族の多様性、柔軟性、いい加減さとも言つは相変わらずで、この「ちやちや」感が愛すべき街です。新しい形のアートやコンサートが連日どこかで開催されますが、古き良きものも大切にしながら暮らしています。半年間の滞在はロンドン大学の学生寮を拠点にしました。毎晩、中庭に面したこここの部屋の窓から

は、必ず夜通し明かりが漏れていて、PCに向かう各国からの学生たちが見えます。世界中の学生のパワーを感じながら、帰国後は北海学園大学の学生の問題意識を高めるための教育に力を入れたいと思う毎日でした。

豊陵会寄贈絵画 ⑥
『鉄塔の見える道』
玉井 米嘉数

1997年度道展出品水彩40号
工学部1号館2階展示



「プロフィール」一九二六年京都市生まれ。元中学校教諭。北海学園大学(道展)会員。新道展入選。一九五四年第29回道展入選。一九五六年第31回新道展入選。一九五九年第34回道展明日新聞社賞。同年14回新道展入選。一九六〇年第35回道展入選。一九六一年第36回道展入選。一九六二年第37回道展入選。一九六三年第38回道展入選。一九六四年第39回道展入選。一九六五年第40回道展入選。一九六六年第41回道展入選。一九六七年第42回道展入選。一九六八年第43回道展入選。一九六九年第44回道展入選。一九七〇年第45回道展入選。一九七一年第46回道展入選。一九七二年第47回道展入選。一九七三年第48回道展入選。一九七四年第49回道展入選。一九七五年第50回道展入選。一九七六年第51回道展入選。一九七七年第52回道展入選。一九七八年第53回道展入選。一九七九年第54回道展入選。一九八〇年第55回道展入選。一九八一年第56回道展入選。一九八二年第57回道展入選。一九八三年第58回道展入選。一九八四年第59回道展入選。一九八五年第60回道展入選。一九八六年第61回道展入選。一九八七年第62回道展入選。一九八八年第63回道展入選。一九八九年第64回道展入選。一九九〇年第65回道展入選。一九九一年第66回道展入選。一九九二年第67回道展入選。一九九三年第68回道展入選。一九九四年第69回道展入選。一九九五年第70回道展入選。一九九六年第71回道展入選。一九九七年第72回道展入選。一九九八年第73回道展入選。一九九九年第74回道展入選。二〇〇〇年第75回道展入選。二〇〇一年第76回道展入選。二〇〇二年第77回道展入選。二〇〇三年第78回道展入選。二〇〇四年第79回道展入選。二〇〇五年第80回道展入選。二〇〇六年第81回道展入選。二〇〇七年第82回道展入選。二〇〇八年第83回道展入選。二〇〇九年第84回道展入選。二〇一〇年第85回道展入選。二〇一一年第86回道展入選。二〇一二年第87回道展入選。二〇一三年第88回道展入選。二〇一四年第89回道展入選。二〇一五年第90回道展入選。二〇一六年第91回道展入選。二〇一七年第92回道展入選。二〇一八年第93回道展入選。二〇一九年第94回道展入選。二〇二〇年第95回道展入選。二〇二一年第96回道展入選。二〇二二年第97回道展入選。二〇二三年第98回道展入選。二〇二四年第99回道展入選。二〇二五年第100回道展入選。

経済学部教授 川村 雅則



働き方改革で
私たちの働き方は
どうなるのか

今年6月29日に成立した働き方改革関連法で働く人たちは幸せになるだろうか。そうは思わない。日本の職場に今必要なのは、過労死の温床となっている長時間残業(しかもそれは往々にして不払い残業)と先の見えぬ非正規雇用の濫用を解消して、働けば食べていける条件の整備である。ILO(国際労働機関)が提唱し、働きがいのある人間らしい仕事と訳されるディーセント・ワーク

今年6月29日に成立した働き方改革関連法で働く人たちは幸せになるだろうか。そうは思わない。日本の職場に今必要なのは、過労死の温床となっている長時間残業(しかもそれは往々にして不払い残業)と先の見えぬ非正規雇用の濫用を解消して、働けば食べていける条件の整備である。ILO(国際労働機関)が提唱し、働きがいのある人間らしい仕事と訳されるディーセント・ワーク

プロは、一部報道機関で言われている「成果別労働」でも「脱時間給制度」でもない。これは現行制度でも可能である。改革法は制定された。しかし忘れてはならないことがある。働き方を規定する法制度の整備はたしかに重要であるが、加えて、労働条件の決定は労使が対等の立場で行つて、そのために憲法や労働法は、団結権を通じた労働者の「参加」を期待していることである。つまり働き方を決めるのは私たちであるという視点が、私たちの働き方はどうなるのかを、つらなう上で不可欠なのだ。幻想に振り回されず、主権者として考え、行動することもここには含まれる。私たちこそが改革の主体である。

未来展望

に過労死ラインと言われる水準である。それが法で認められた。しかも人手不足で長時間労働が深刻な建設業や自動車運送業では、この規制水準さえ適用を5年間猶予された。

そこで豪雨および災害発生予測や危険の程度を知らせる情報伝達が重要となる必要がある。

2018年度 市民公開講座 平成とは何だったのか

法学部の教員3名による市民公開講座が7月14日(C31番教室)で開催された。今上天皇の生前退位決定により、2019年4月末に30年の節目をもって終わりを迎える「平成」について、政治・法律・教養の3つの観点から総括しつつ、これからの10年、20年を展望した。

改革の果てに

―日本政治激動の30年―

法学部准教授 山本 健太郎
(現代政治学)

政治にとっての「平成」は、55年体制が崩壊し、政界再編に突入する激動の30年だったと総括できます。そして激動の平成政治を貫くキーワードが「改革」です。まずリクルート事件に端を発し、カネのかかる派閥政治を見直すべく、衆議院の選挙制度改革を柱とした政治改革が実現します。これにより、55年体制は崩壊し、政府―与党関係における首相の

政治にとっての「平成」は、55年体制が崩壊し、政界再編に突入する激動の30年だったと総括できます。そして激動の平成政治を貫くキーワードが「改革」です。まずリクルート事件に端を発し、カネのかかる派閥政治を見直すべく、衆議院の選挙制度改革を柱とした政治改革が実現します。これにより、55年体制は崩壊し、政府―与党関係における首相の

政治にとっての「平成」は、55年体制が崩壊し、政界再編に突入する激動の30年だったと総括できます。そして激動の平成政治を貫くキーワードが「改革」です。まずリクルート事件に端を発し、カネのかかる派閥政治を見直すべく、衆議院の選挙制度改革を柱とした政治改革が実現します。これにより、55年体制は崩壊し、政府―与党関係における首相の



法学部・山本健太郎准教授

政治にとっての「平成」は、55年体制が崩壊し、政界再編に突入する激動の30年だったと総括できます。そして激動の平成政治を貫くキーワードが「改革」です。まずリクルート事件に端を発し、カネのかかる派閥政治を見直すべく、衆議院の選挙制度改革を柱とした政治改革が実現します。これにより、55年体制は崩壊し、政府―与党関係における首相の

世界の言語と文化のモザイクを眺める

教務センター 市民公開講座

毎年恒例となったドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語の5種類の言語とそれぞれの地域の文化について学ぶ市民公開講座が、5月12日から5回にわたって行われた。これは社会貢献の一端として、大学が有する知的財産を市民の方々に提供するというもの。



5月12日のドイツ語、ドイツ文化講座

各講師の研究成果を盛り込んだ内容で分かりやすく解説し、受講者は広く海外の事象について理解を深めた。

立憲主義と 人権保障の30年

法学部教授 館田 晶子
(憲法学)

講演では、平成を社会における主体の多様化の時代ととらえ、司法による多様性の承認を中心に話を進めた。少子高齢化の進行に伴い、社会に焦点を当てたため、全体として楽観的との印象を与えたかもしれない。



法学部・館田晶子教授

講演では、平成を社会における主体の多様化の時代ととらえ、司法による多様性の承認を中心に話を進めた。少子高齢化の進行に伴い、社会に焦点を当てたため、全体として楽観的との印象を与えたかもしれない。

「平成」は平成？

情報統制の時代に

法学部教授 韓 永學
(マスコミ論)

「平成」は「国内外の平和が達成される」という願望が込められた元号であるが、平成末期の現在の日本社会は、国家主義・ナショナリズムの高揚、監視社会化、思想・表現の自由を含む市民的自由の萎縮、メディアの番犬機能の低下が目立つ。このような問題意識から講演では以下のように言及した。

このような閉塞感を打破すべく、政府は民主主義の理念を再確認して情報統制体制から脱却すべきである。また、メディアは番犬機能の確立・強化に努め、市民は「第五の権力」としていわゆる権力やメディアの監視を強めなければならない。



法学部・韓永學教授

このような閉塞感を打破すべく、政府は民主主義の理念を再確認して情報統制体制から脱却すべきである。また、メディアは番犬機能の確立・強化に努め、市民は「第五の権力」としていわゆる権力やメディアの監視を強めなければならない。

第4回 地域連携特別講座 共通テーマ「知識の萌芽2018」

本学地域連携推進機構は第4回地域連携特別講座を7月5日、11日、17日の3回にわたり、北広島市芸術文化ホールで開催した。この公開講座は、大学の社会的機能の一つの連携によって開催している。

人文知の非実用的有用性

北海学園大学学長 安酸 敏眞

科学技術と経済発展が至上価値となった現代では、人文知を身に付けた人は、多くの所与を総合的に概観し、それらの間に働く意味の「精神をたたく精神」として、問題の所在(トポス)がどこにあるかを、見抜く眼識を得ることができるといえる。したがって、人文知は現代社会において有用であるところか、むしろいまだに必要(総合学)です。これが人文知の「非実用的有用性」なのです。

グローバル化時代の 使える英語習得のコツ

経営学部教授 内藤 永

グローバル化が進み中小企業までもが海外進出するようになり、グローバル人材は多数求められています。また、北広島市はアジアナショナルのボールパーク候補地として外国人観光客が激増すると予想されています。講演では、世界ではどのような英語が使用されているのかを解説し、続いて、中学生レベルの英語を上手に使いこなすための習得方法と練習のコツについて詳しく説明しました。そして、実演として、来場者がペアとなり英会話に取り組みました。22名の来場者が熱心に耳を傾け、楽しみながら「使える英語」を体感していました。

IoTとモノづくりの発展

工学部教授 菊地 慶仁

前半はIoTについて、最近使われ始めた家庭用スマートスピーカーの紹介から始まり、General Electric社におけるジェットエンジン整備、小松製作所での建設機械管理のサービス実例について、またIoTを簡単に実現するためのミドルウェアや専用通信ネットワークサービス得られたデータの解析手法について解説しました。



講演の様子(7月17日)

経済学部 特別講演

経済学部は7月13日、33番教室で、株式会社四万十ドラマ代表取締役・畦地履正氏をお招きし、「地域活性化の秘訣を教えます!!」四万十ドラマ20年越しの歩みから」と題した講演会を開催した。四万十ドラマは「地域にあるものを活かして四万十川を、道の駅やオンラインショップで販売している。畦地氏は、現在力をいれている事業の一つとして、栗1万本プロジェクトを紹介。800本あった栗の木が5年前には18本に減少し、約4年に負担をかけるものづくりをコンセプトに事業展開している。地域の人・産物・文化などを調査し、地元住民と協力して地域資源に付加価値をつけた商品を開発。和紅茶やうなぎ、栗のお菓子、



株式会社四万十ドラマ 畦地履正代表取締役

四万十から地域活性化学

本学経済学部の大員健二氏は昨年度、地域研修で四万十町を訪れ、20年越しの仕組みづくりと成果を直に学んだ。畦地氏は「若いからこそどんと失敗してはいい。そして2度と失敗しないようにすることが成功の秘訣」と話した。
<http://shimanto-drama.jp>

法学部カフェ

昨年末、著書『冷戦の終焉と日本外交』鈴木・中曾根・竹下政権の外交1980-1989年』を上梓した法学部・若月秀和教授を話し手に迎え、第47回法学部カフェが5月19日、カフェエストライダで開かれた。テーマは「平成の終わりに(昭和末期を振り返る)1980年代の日本外交」。聞き手は、北海道大学公共政策学研究所・若月秀和教授、法学部准教授・岩野祐介、法学部准教授・小柳孝史。

1980年代の日本外交を振り返る

米ソ対立が先鋭化した新冷戦時代の1982年に鈴木政権を継いだ中曽根政権は、「西側の一員」という旗印の下、米國をはじめ中韓、ASEAN、ソ連と良好、適正な関係を築き、「全方位外交」を現実的に達成した。しかし85年以降、新冷戦が緩和すると、日米経済・技術摩擦問題や中韓両国との歴史認識問題、さらには上税問題で消耗。次の竹下政権では、消費税法案の成立、昭和天皇の御不例、リクルート事件など



左から北海道大学公共政策学研究所・若月秀和教授、法学部准教授・岩野祐介、法学部准教授・小柳孝史

第16回 人文文学の挑戦

×北海道みらい事業

7月15日、紀伊國屋書店札幌本店で人文文学部のイベント「人文文学の挑戦」が開催された。テーマは「内村鑑三の生きた北海道、世界が読んだ内村鑑三」。講師は、関西学院大学神学学部・岩野祐介教授と本学人文文学部・小柳孝史教授。



内村鑑三に関する講演の様子

内村鑑三は近代日本を代表するキリスト教思想家で、無教会運動の創始者。江戸生まれで、札幌農学校在学時にキリスト教に入信した。第一部では岩野教授が、1



関西学院大学・岩野祐介教授(左)と本学人文文学部・小柳孝史准教授

キャリア支援センターは就職活動をバックアップします！

未来を掴め！



主任 荒川 恭介
CDAキャリアカウンセラー
【主な担当】
インターンシップ、資格

主任 松山 周平
CDAキャリアカウンセラー
【主な担当】
公務員支援

主任 土井 緋佳留
CDAキャリアカウンセラー
【主な担当】
公務員支援、資格

事務長 河井 裕司
【主な担当】
企業・官公庁情報

書記 浅野 吹雪 (工学部)
【主な担当】
工学部の就職指導全般

主任 青木 陽祐 (工学部)
CDAキャリアカウンセラー
【主な担当】
工学部の就職指導全般

主任 村上 友基
CDAキャリアカウンセラー
【主な担当】
民間支援

係長 三浦 裕幸
【主な担当】
企業情報、民間支援

積極的な挑戦を

言うまでもなく、学生の本分は勉学ですが、卒業と同時に、多くの方が社会へ巣立つでしょう。そのお手伝いをするのが、私たちキャリア支援センターの仕事です。

学生の皆さんは、無数と言ってよいほどの就職先を前に迷います。そして、就職活動という未知の体験を前に不安に駆られます。当然だと思います。

しかし、多くの先輩達が、現に進路を得て、社会で活躍していることは紛れもない事実です。それと同時に、進路を得るには、それなりの準備や努力が必要なこと、そして、そのために、当センターが提供するサービスを積極的に利用しないのは、非常にもったいないことなのだと思います。

自分の状況を正しく認識し、自らの課題解決のために、信頼できる資源を積極的に利用すること、それこそが皆さんに求められていることです。当センターは、必ず皆さんの力になれる。



キャリア支援センター長
田村 卓哉 経営学部教授

民間企業志望者へのサポート

ガイダンスや個人面談などきめ細かな指導

本格的な就職指導は、3年生の4月の第1回就職ガイダンスから始まります。その後、4年生まで6回にわたって実施する基本的なガイダンスのほか、適宜、フォローガイダンス等を実施しています。

また、学生の就職意識の向上を目的として、各種の就職支援講座を開講しています。さらに、就職希望者全員への個人面談の実施、履歴書・エントリーシートの書き方や面接トレーニングなど就活全般のきめ細やかな指導・相談に応じる体制を整えています。

内定した学生が後輩の就活をサポート

就職が内定した学生が後輩に就職活動についてサポートするグループもあり、直近に就活を経験した4年生からのアドバイスも気軽に受けられるようにしています。

公務員志望者へのサポート

2年次10月から公務員講座スタート

一人ひとりに応じた学習相談や面接対策、情報提供なども当然行っていますが、筆記試験の対策として、「公務員講座(有料)」を2年生の10月から開講しています。受講生は毎年400名を超える人気の講座となっています。教養・専門主要科目を網羅した講座となっています。模擬試験もセットになっており、試験直前期には8回の模擬試験が受けられる内容になっています。

さらに、現役合格者による勉強会や相談会も実施しており、公務員希望者には面接カードの書き方や面接についてアドバイスします。

1年次から職業意識を高める教育

1年次の学生には、民間企業、公務員を問わず、社会について考える「キャリアガイダンス」科目も用意しています。仕事に対する意識を高め、自ら将来構想を構築できる力を養います。

キャリア支援センターは
学生のみなさんの味方です!!

進路のことならなんでもご相談を

大学生の皆さんの本分は学業ではありますが、並行して社会人になるにあたっての準備を行うことも重要です。

我々キャリア支援センターでは、就職・キャリア相談、ガイダンスをはじめとして、就職に関するセミナーや公務員講座、各種資格講座等を皆さんに提供しています。

そして、皆さんが自ら考えて行うサークル活動、アルバイト等で得た経験も大変重要となります。是非、目的を持って4年間の大学生活を充実したものにしたいと考えます。その集大成が就職ということになります。自分を知り、社会を知り、様々な業界・職種を知り、大学時代に大きな成長を遂げてほしいと思っています。

進路のことで相談があったら、迷わずにキャリア支援センター事務室をお尋ねください。



2018年度 学内資格講座開講スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
秘書検定 2級		全5回			夏休み						春休み	
ビジネスマナーズスペシャリスト サービス接客検定 2級						全6回					全6回	
電話応対技能検定 3級					全3回		全6回					
マイクロソフト オフィス						全3回					全3回	
法学検定			ベーシック(基礎) 全16回			スタンダード(中級) 全18回						
宅地建物取引士			全37回・他WEB演習あり									
旅行業務取扱管理者			国内 全18回			総合 全25回						
FP技能士 3級 (ファイナンシャルプランナー)						LIVE 全15回				DVD+スクーリング 全3回		
日商簿記検定		3級 全23回				2級 全57回	3級 全23回					
金融実務		3級DVD+スクーリング 全10回				3級DVD+スクーリング 全10回	2級DVD+スクーリング 全15回			全4回		
販売士検定 (リテールマーケティング)			3級 全10回							2級 全16回		

公務員試験合格状況 (過去4ヵ年)

名 称		年(年度)	2018年(H29年度)	2017年(H28年度)	2016年(H27年度)	2015年(H26年度)
国家公務員(総合職)			1	1		
国家公務員(一般職)			95	95	89	52
国税専門官			20	15	30	29
労働基準監督官			2	3		1
法務省専門職員			1			1
財務専門官			3	1	6	2
裁判所職員(一般職)			4	4	6	5
皇宮護衛官(大卒程度)			1	2	1	1
航空管制官						1
自衛隊幹部候補生			4	7	5	3
自衛隊一般曹候補生			10	10	10	9
北海道職員	一般行政		63	60	46	30
	教育行政		11	13	25	4
	技術		8	11	11	5
	警察行政		8	14	35	29
	小中学校事務		4	3	7	1
その他都府県					1	
名 称		年(年度)	2018年(H29年度)	2017年(H28年度)	2016年(H27年度)	2015年(H26年度)
北海道警察官	男子		59	66	62	74
	女子		16	12	7	15
警視庁警察官			9	10	17	8
上記以外の警察官			1	1	1	3
東京消防庁				2	1	
札幌市職員	行政		44	36	34	24
	土木・建築・電子		12	5	10	5
	学校事務		3	2	6	2
	福祉					1
消防吏員			5	11	10	15
			103	89	122	126
その他市町村			94	58	68	69
国立大学等法人職員			9	25	13	10
その他公務員等(上記分類以外)			590	556	624	525
公務員合計			19	18	11	15
教員	公立学校教員		60	47	39	32
	公立学校教員(臨時)		79	65	50	47
公立学校教員合計			669	621	674	572
総 計						

2018年度

学年		3年生											4年生																							
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	10月	11月																
就職活動スケジュール	民間希望者	自己分析の開始 ミナトコム・就職情報会社への登録											企業へのエントリー・入社試験スタート 企業説明会スタート・内定出し開始																							
	公務員希望者	業界・職種研究開始											面接・選考ピーク 内定出しピーク																							
		第一期 準備期											第二期 エントリー期											第三期 選考期												
		第1回就職・公務員ガイダンス	資格取得ガイダンス	インターンシップガイダンス	職業適性検査実施(全員)	第2回就職・公務員ガイダンス 学習方法ガイダンス	第3回就職・公務員ガイダンス (5月～3年3月)	公務員講座開始	インターンシップ(主に夏休み期間)	進路登録カード提出(全員)	第3回就職・公務員ガイダンス (進路登録カード配布)	就活対策講座開始	筆記試験(S・P)対策講座	第4回就職ガイダンス・ 学内官庁業務説明会	学内OB・OG訪問	学内業界研究会	インターンシップ(主に春休み)	第5回就職ガイダンス (2月～4月)	公務員模擬試験開始	面接トレーニング開始	第1回学内合同企業説明会	公務員講座終了	公務員試験願書配布開始	公務員直前ガイダンス	筆記試験スタート	模擬面接開始	面接・面接カード対策ガイダンス	第6回就職ガイダンス	面接スタート	官庁別2次対策ガイダンス	第2回学内合同企業説明会	第3回学内合同企業説明会	秋試験に向けての	公務員ガイダンス	第4回学内合同企業説明会	特別就職ガイダンス

私たちの就職活動体験記

将来のためにこの1年間、勉強に集中

公務員になって人のためになる仕事をしようと3年生の4月から学内の公務員講座を受講。毎日大学の図書館で、長いときは朝9時から夜10時まで勉強しました。2月までは週に1〜2回、居酒屋でのアルバイトを続け、それが息抜きになると同時に、コミュニケーション力向上にも役立ちました。勉強する時は勉強、休むときは休むなどメリハリのある時間の使い方を意識。学内官庁説明会にも積極的に出席し、いろいろな人の話を聞いてモチベーションを高めました。同じ公務員志望の仲間が存在も大きな支えでした。苦しい時期もありましたが、自分の将来を考え、仕事もプライベートも充実させるためにも、この1年間は必死に頑張りました。

いりくら じゅんろう
法学部政治学科4年 **入倉 潤朗**
合格先：札幌市、国家公務員一般職、国税専門官
(8月21日現在)

ここで働きたいという強い思いを胸に

3年生の夏休みにインターンシップに参加してから就職への意識が高まり、学内OB・OG訪問や学内業界研究会に積極的に足を運びました。内定をいただいた柳月さんは第一志望。面接では、大好きな北海道ブランドのお菓子業界で働きたいという強い思いをぶつけました。また、YOSA KOIソーラン祭り学生実行委員会に入ってお祭りの運営に携わったり、2年の春休みにオーストラリアに1カ月留学して異文化を体験し、それがきっかけで旅行業務取扱管理者の資格を取ったことなど、いろいろなことに挑戦した大学生活を話しました。就活のために何かをするのではなく、1年生の時から興味を持ったことに取り組むこと。それが結果的に就活にも生きてきます。

はとり じゅんな
人文学部英米文化学科4年 **羽鳥 純奈**
内定先：株式会社柳月

未来を掴め！

社会で活躍するOB&OGからのメッセージ！

人間力が試される営業にやりがいを感じています



株式会社
北海道リース
米田 直己
経済学部経済学科
2016年度卒業

様々な業種の法人相手にリースの営業を行っています。どれだけ相手に良い印象を持って頂けるか、記憶に留めてもらえるか、人間力が試されるところにやりがいを感じます。大学で経済を学び、また大学生活においていろいろな方と関わり合いたくさんの考え方や知識に触れ見聞が広がったことで、社長さん相手でも対等に時局や世間話を語り合えることが今の仕事に役に立っています。

大学での様々な経験が今の仕事に役立っています



あさひかわ農業
協同組合
中田 大嵩
経済学部地域経済学科
2017年度卒業

現在、融資・農家経営対策課ローンセンターに所属し、住宅ローンやマイカーローンなど融資に関わる手続きや審査業務に携わっています。学生時代は経済学部の学生団体に所属し活動。学内外の教授や学生と関わる機会が多く、様々な年代や地域の方と会話をする大切さを経験しました。仕事は相手がいて成り立つもの。社会人になったいま、この経験がとても良かったと感じています。

様々な業務を経験し、お客様のニーズに対応



北洋銀行
静内支店
藤本 祥子
経営学部経営学科
2015年度卒業

入行2年間で預金・融資等を経験し、3年目の現在は、個人のお客様に対し投資信託や保険などの預かり資産を販売する業務です。当行では入行して3年間は様々な業務を担当します。勉強の毎日ですが、その分細かなニーズにも対応できるのが他の金融機関にない強み。まだ半人前ですが、「お金のことは藤本さんに聞けば安心だね」とお客様に声をかけて頂いた時はやりがいを感じました。

吹奏楽も旅行業も様々な人との関わりが楽しい



名鉄観光サービス
株式会社 函館支店
佐々木 彩
経営学部経営情報学科
2017年度卒業

大学4年間、吹奏楽団で“人と関わることの楽しさ”を学びました。ある人の一言が自分の中でずっと生き続けていたり、簡単に自分の考え方を変えてしまったり…そんな人との繋がりが魅力で旅行会社の営業へ。社員旅行や修学旅行のセールス、頂いた旅行の添乗業務等を行っています。ある日は社長、ある日は小学生100人と、様々な方たちと密接に関わっていただけることが旅行業の魅力です。

5市町村をくまなく取材。多様な経験を積んでいます



北海道新聞社
名寄支局
鈴木 宇星
法学部法律学科
2017年度卒業

大学では、子どもの貧困など社会的問題について学んだり、ゼミでは札幌市が進める「都心アクセス道路」についての賛否を調査。テレビ局でのアルバイトも経験し、興味のあることは、とことん掘り下げました。現在、名寄支局で5市町村を担当し、事件事故やJR問題、地域の話題やグルメ、平昌五輪選手などなんでも取材します。多様な経験を積めるのが今の仕事のやりがいです。

大学で学んだことを行政の仕事で発揮したい



森町役場
企画振興課振興係
(兼)計画係
奈良 祐介
経営学部政治学科
2017年度卒業

行政や政治に興味・関心があり、大学では憲法、地方自治法、行政法、地方政治論、公共政策論などを学んで地方公務員の道へ。現在所属する部署は町行政の総合計画・立案・調整に関することや定住対策に関すること、新エネルギーの推進に関する業務を行っています。まだ自分のできる仕事は少ないですが、いずれは組織の一端を担い、大学で学んだことを存分に発揮したいと思います。

物流の仕事で北海道の暮らしの役に立ちたい



幸楽輸送株式会社
岡本 杏子
人文学部日本文化学科
2017年度卒業

現在、事業開発部で物流について勉強しながら新規事業立ち上げ等の仕事に携わっています。モノを運ぶことによって生活を支えている物流は必要不可欠なもの。「北海道の暮らしの役に立つことをしたい」という思いを学生時代から強く持っていた私にとって、現在の仕事はとてもやりがいを感じます。これからも新しい知識をどんどん吸収し、できることを広げていきたいと考えています。

国際的スキルを持ち合わせた大学職員を目指して



国立大学法人
北海道大学
佐藤 豪
人文学部英米文化学科
2017年度卒業

北海道大学の事務職員として、主に会計の仕事に従事。教職員への旅費の支給に関することや、補助金及び寄付金などの外部資金に関する業務などを行っています。旅費の業務では、海外の航空会社国際電話をかける機会もあり、大学時代のネイティブの先生方をはじめとする講義すべてが役立っています。社会のニーズに応えるため、国際的なスキルを持ち合わせた大学職員を目指しています。

充実した大学生活でやりたい職業を見つけてほしい



札幌市役所
建設局総務部自転車
対策担当課
澤村 圭吾
工学部社会環境工学科
2015年度卒業

現在、自転車のルール通りの通行位置を明示する取り組みなどに携わっています。大学入学時、将来の夢ややりたいことはありませんでしたが4年間、勉強、サークル、バイトを両立して、やりたい職業を見つけ、現在に至っています。ぜひとも、個々で目標を設定し、友人、先生、皆様をサポートしてくれる職員の方々とともに、充実した大学生活を送っていただきたいと思います。

自分の好きなことを学び、好きなことを仕事に



株式会社ロコスホーム
登別室蘭店
佐野 文香
工学部建築学科
2016年度卒業

空間デザインを学びたくて建築学科へ。意匠設計を主軸としたゼミに所属し、建築から家具まで様々なスケールで空間について学びました。空間デザイナーという『自分のやりたい姿』を抱き臨んだ就職活動。『好きなことを仕事にする』という言葉に惹かれ、ここしかない！と感じたのが現在の会社。『お客様と一緒に家づくり』をモットーにインテリアコーディネーターを担当しています。

「自分の作ったものが、目の前で動く」楽しさを実感



リコーITソリューションズ株式会社
上山 凌
工学部電子情報工学科
2014年度卒業

コンピュータのもののづくり分野はソフトウェアとハードウェアに分かれていますが、大学では両分野を学び幅広い知識を身につけました。現在は、IoTと呼ばれる領域でソフトウェアの設計・開発業務を行っています。自分が開発に携わったものが世の中へ出回り、実際にお客様が使っているところを見ると、「自分の作ったものが、目の前で動く」という楽しさを実感できやりがいを感じます。

生物から情報分野へ興味が広がりIT企業へ就職

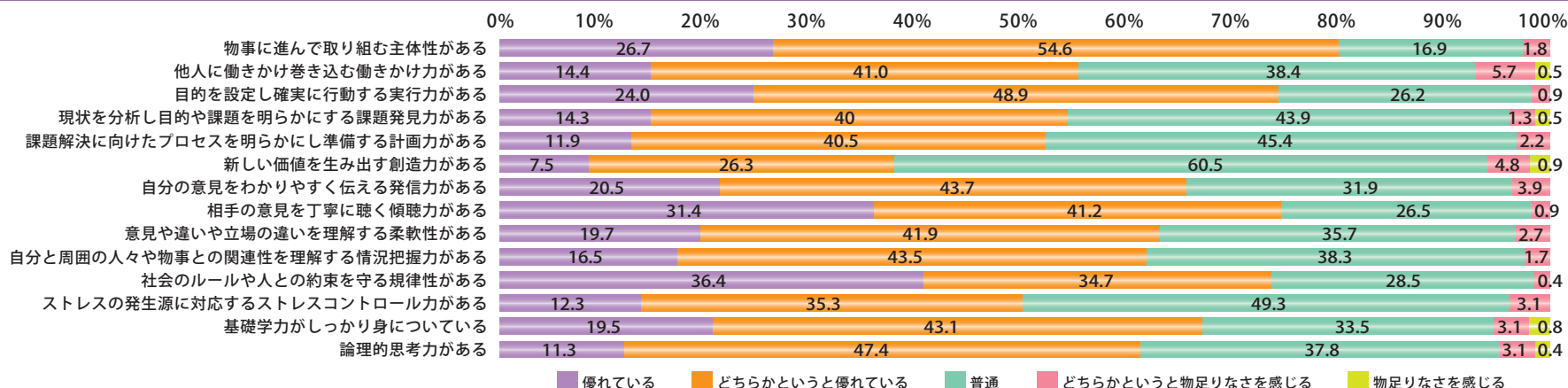


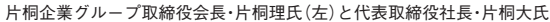
日本アイビーエム・ソリューション・サービス株式会社
柳田 紗耶未
工学部生命工学科
2015年度卒業

生物に興味があり生命工学科に進学しましたが、大学で情報分野に興味をもち、IT企業に就職。インフラ系のシステムを担当するプログラマーです。大学のサークルで演劇をやっていましたが、大学から補助金等があり一般の劇団に劣らない舞台作りを経験しました。この経験が、プロジェクト運営等に役立っています。システムづくりは大変ですが、とても楽しくやりがいのある仕事です。

北海学園大学生を積極採用している企業に訊いた北海学園大の学生・卒業生の印象

回答数 228、複数回答





- 北海学園大学フリーフォームレスジャズオーケストラ 演奏
- いたい ライブ
- 北海学園大学全学応援団指導部 演舞
- 学園グレイトビンゴ 海外ペア旅行、温泉旅行ペア宿泊券、空気清浄機など豪華品が多数!



図書館棟と北海学園会館を結ぶ1階通路に設置された寄付型自動販売機。正面とサイドに漫画家ヤマモトマナブ先生のイラストが描かれている。写真の学生は宮入ゼミ3年生の池田梨乃さん

学内に寄付型自動販売機

石狩の農業・農村を応援しよう！

本学経済学部・宮入隆ゼミの学生たちと北海道石狩振興局若手職員がデザインコンセプトを担当した寄付型自動販売機が6月27日、本学図書館・国際会議場1階に設置され、お披露目会(除幕式)が行われた。

これは、石狩振興局による石狩管内の農業・農村PR活動の一環で、ポッカサッポロ北海道株式会社と協力し、市町村ごとの特色を描いた自動販売機を設置し

石狩振興局職員と宮入ゼミ生がデザインコンセプト

て、売上の一部約3割を石狩管内指導農業者・農業士会に寄付し、担い手の支援活動に役立てようというもの。

宮入ゼミではワークショップ方式で、石狩振興局管内の8つの市町村の農業・農村について調べ、その魅力やPR点を探してコンセプトを図案化。これをもとに、第1回北のまんが大賞受賞の漫画家、ヤマモトマナブ先生が市町村ごとにイラスト化した。本学は第1号機の設置場所となった。

▼小田中志穂さん(経済学部地域経済学科3年・宮入ゼミ)のコメント

「地域創生アドバイザーの先生にデザインの心構えを学び、多くの人の目にとまるよう工夫しました。このプロジェクトを通して地域について知識を深め、学生であっても社会のため、北海道のため、農業振興のためにできることがあるということを知ることができました。ぜひこの自動販売機を積極的に活用し、石狩農業を応援してほしいと思います」



お披露目式で関係者の記念撮影



浦武四郎は、三浦氏に「北海道の名付(集める)世に発信(伝える)け親」として知られる松浦泰之氏による公開セミナーが7月12日、60番教室で開催された。主催は地域連携推進機構。

三浦氏は、「北海道の名付(集める)世に発信(伝える)け親」として知られる松浦泰之氏による公開セミナーが7月12日、60番教室で開催された。主催は地域連携推進機構。

松浦武四郎

「見る、集める、伝える」



北海道博物館学芸主幹 三浦泰之氏

身の生計のために、『石狩日誌』や『勝日誌』、地図など

三浦氏は「北海道の名付(集める)世に発信(伝える)け親」として知られる松浦泰之氏による公開セミナーが7月12日、60番教室で開催された。主催は地域連携推進機構。



松浦武四郎の写真(松浦武四郎記念館所蔵)

士として実施。蝦夷日誌全35巻を執筆し、蝦夷地通として名が知れ渡ることになった。4回目から6回目は、蝦夷地開拓を目論んでいた幕府の御雇として、蝦夷地の地理的状況やアイヌ民族の生活状況、新道の切り開きの可能性などを調査。全16巻の報告書を作成して幕府へ提出。江戸に戻った1年後に辞職した武四郎は、蝦夷地を世間に紹介するという目的と自

生涯で約45件を出版した。三浦氏は、武四郎がアイヌ民族の案内や世話を受けたがら内陸部までくまなく踏査して作成した地図「東西蝦夷山川地理取調図」を画面に映し、「武四郎の地図の画期的なところは、内陸部まで約9800ものアイヌ語地名が書き込まれている」と説明。特別展にも展示された北海学園所蔵の『志古津日誌』なども紹介した。

大学院進学説明会

平成30年度



工学研究科の個別相談コーナー

今年度の第1回大学院進学説明会が7月7日(土)午後1時から本学6号館校舎で開催された。

本学には経済学・経営学・法学・文学・工学の5研究科すべてに修士・博士(後期)課程が設置されている。多くの大学で大学院を設置してい

るが、その中でも博士(後期)課程を全研究科で設置している大学は、非常に限られている。

全体説明として奨学金制度の説明を行った後、各研究科の個別相談コーナーで入学試験(一般受験・社会人特別受験)制度や入学後の学修・研究環境など履修全般について詳しく説明。また、キャリア支援センターの相談コーナーでは、大学院生の就職情報の提供なども行った。

人文学部公開授業

ビブリオバトル

人文学部1部・田中綾ゼミ「人文学演習A」の公開授業として7月20日と27日、D42番教室でビブリオバトルが開催された。

ビブリオバトルとは「人を通して本を知る。本を通して人を知る」がキャッチコピーのコミュニケーションゲーム。バトルと呼ばれる発表者が5分間で好きな本を紹介。質疑応答の後、読みたくなった本に投票してチャンプ本を決める。20日は5人、27日も5人のバトルが思い思いの本を紹介した。20日のチャンプ本は夢野久作『死後の恋夢野久作傑作集』。紹介した日本文化学科2年夢田あみさんは「ビ



お気に入りの本を紹介するパトラ

本に対する熱意伝わる

ビブリオバトルに初めて参加した。緊張して頭が真っ白になってしまった。この本はとても異色でその世界に引き込まれる作品。ぜひ読んでほしい」と話した。

なお、7月27日のチャンプ本を紹介した大江翔太さん(日本文化学科2年)は、11月3日に三浦綾子記念文学館(旭川)で開催される「全日本大学ビブリオバトル2018 北海道地区決戦B」に出場し全国大会をめざす。



経営学部経営学科2年 伊藤 昂

硬式テニス部。平成30年度全日本大学対抗テニス王座決定戦 北海道地区予選 第51回北海道学生テニスリーグ1部リーグで団体優勝、10月に全国大会出場。

私の学び

「二人でバックパッカーとしてタイへ行ったとき、英語が話せなくて後悔したんです。もっと勉強しておけばよかったって。それが今回の留学のきっかけです」

伊藤さんは、道が企業や個人から寄附金を募り若者の海外への挑戦を応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の2期生に選ばれ、10月から10カ月間、オーストラリア、アメリカ、オランダの3カ国へ留学する。

目的は、語学はもとより、

ほっかいどう未来チャレンジ基金で留学

「通常の3カ月近くかかるというので、毎日遅くまで頑張りました。選ばれたのは周りの人たちのおかげです」。

「僕の武器はコミュニケーション能力、好奇心、行動力」というように、とにかく前へ前へ突進する勢いに周りが巻き込まれ、おもわず手を差し伸べてしまう不思議な力があるようだ。

北海道観光の今、アドベンチャートラベルの可能性

こんなエピソードがある。タイの観光地に行ったとき、持ち前の行動力、コミュニケーション能力を発揮して、その場に居合わせた日本人十人に声をかけ写真を撮った。そして、その写真がフォトコンテストでグランプリを受賞し、副賞としてオーストラリア旅行をゲット。7月上旬に渡豪し、「留学前のいい語学研修となった」と話す。積極的に動くことで運も味方につけ、可能性をどんどん広げている。

伊藤さんの将来の目標は、観光への波及効果が高いテニスの世界大会を北海道に誘致すること。そのステップとして、「北海道はテニスの国際大会の経験がないので、まずは小さな大会から少しずつ誘致していきたい。北海道をテニス王国に変えたいです」と意気込みを語る。これからの伊藤さんの



講師の実重貴之氏の話に熱心に耳を傾ける学生たち

第1回 北海道観光・地域振興特別講座

人文学部では、今年度より「北海道観光・地域振興特別講座」を年に3回主催することになりました。

5月25日(金)に行われた初回は行政の立場から、北海道観光の新たな可能性を模索している国土交通省北海道運輸局観光部の観光企画課課長・実重貴之さんに北海道観光の今アドベンチャートラ

ベルの可能性」というタイトルで講演いただきました。

北海道観光の起爆剤として、「自然」「アクティビティ」「異文化体験を組み合わせた新しい形態の「アドベンチャートラベル」を推進することが死活的に重要であるとの熱いメッセージを受け、講演の後の質疑応答も活発でこのテーマへの学生の関心の強さを感じました。

人文学部では、今後もこの講座を通して、身近な文化交流であり、世界への「窓」でもある観光という場で、「文化を体験してもらう」といって、学生の側の学習だけでなく、教員の側も研究を進め、観光に携わる方々とのコラボレーションを試み、それを教育に還元していきたいと考えています。



左から石井僚一氏、山田航氏、文月悠光氏

石井僚一歌集 批評会

人文学部の卒業生で2014年に第57回短歌研究新人賞を受賞している石井僚一さん(平成23年度卒・16期生)の歌集「死ぬほど好きだから死なねえ」の批評会が7月7日、31番教室で行われた。パネリストは新鋭詩人・文月悠光氏と、現代

短歌の歌人、山田航氏(本学文学研究科修士課程修了)。本当の気持ちはどこにあるのだろうマトリョーシカのようなわたし

文月氏は最初にこの歌をあげ、「マトリョーシカのような複製に疑わしさを抱き、見失った『本』を求めて迷い込む主体の姿が(歌集の)あちこちに見られる」と指摘。山田氏は「リズムや文体など現代短歌における定石への反逆精神や現代短歌的手法を拒否する姿勢で、掟破りの詰まった歌集」と評し、現代短歌に見られる今生きているこの世界を高い見から見下ろすことへの反感があるのではないかと問われるのは、これからの石井僚一の姿勢だろう」と後輩の活躍に期待を寄せた。



教務センター長
おぎわら よしお 経済学部 教授
荻原 克男
「本学では、一般教育が非常に重要だと思っています。ほとんどの学生は1、2年次で履修し専門科目へ

入試部長としての抱負をお聞かせください。
岡崎先生 入試課では入試の実施の他に大学や入試の広報活動を行っているため業務は多岐にわたり、驚くほど残業が多いです。その解決が、僕にとって一番大事な仕事だと思っています。そのために、業務に優先順位をつけて順位の高いものに力をつぎ、方式に変えたいと考えています。僕は宇宙が専門で割り切った考え方を人間なので、合理的に、コストパフォーマンスを考えながら対応していきたいと思っています。具体的なお案は？
岡崎先生 例

一般教育の重要性強調

「教務センター長としての抱負をお聞かせください。」
荻原先生 実は今まで一度も教務委員をやったことがなく、中身は素人なので、とにかく何かあったら長として責任をとります。くらいしか今は言えない。教務センターはルーティーンの仕事が多いのですが、下から上がってき意見や他の委員会から出てきた要望については、学生や教員の立場になって考え、より良い教育環境のために、必要であればできるだけ早く実施できるように努めていきたいと思っています。
――機関長として今後どのようなことが大切だと？
荻原先生 大学は基本的に各学部で専門教育を行うわけですが、一方で教養教育(本学では「一般教育」)が非常に重要だと思っています。荻原先生のおすめの本『AI vs.教科書が読めない子どもたち』新井紀子著(東洋経済新報社)

――興味や休日の過ごし方は？
荻原先生 映画や音楽鑑賞、山歩きですが、機関長になってから一度も行っていない。感性が鈍ってきたのではないかと危機感があります。
荻原先生のおすめの本『AI vs.教科書が読めない子どもたち』新井紀子著(東洋経済新報社)

えは、業務のなかには職員は関係なく、全て入試委員の教員が行っているものがあります。しかし、入試委員の任期は2年、1年目は引き継ぎに多くの時間がかかるの

今年度就任した入試部長・岡崎敦男工学部教授、教務センター長・荻原克男経済学部教授、開発研究所長・西村宣彦経済学部教授に抱負などを伺った。



――新機関長としての抱負を。
西村先生 40歳で前半の開発研究所長は故・田中修先生(当時41歳、川端俊一郎先生(当時42歳)に次いで3人目で、30年以上ぶりで、機関長になるのは全く想定外でしたが、前例踏襲でないなら、私が選ばれた意味はないと考えています。大学も社会も大きな転換期であり、(開発研究所の)60年の歴史を受け継ぎながら、未来を見据えた変革に果たし役割を担いたいと思っています。
――開発研究所で特に力を入れていきたい点は？
西村先生 今までは一教員として取り組んできましたが、学内にはいろいろな先生が個性的・魅力的な地域連携活動を行っていますので、そういう個々の活動を組織的にサポートし推進すること、本学のプレゼンスを高めた。発信力の強化などまだまだやるべきことはあります。
――新機関長と

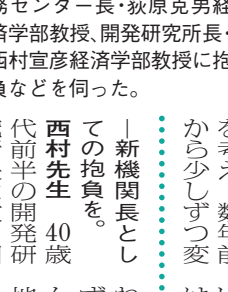
――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。



開発研究所長
にしむら のぶひこ 経済学部 教授
西村 宣彦
――新機関長と

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。



――新機関長と

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。



全道の私大・短大担当者が参加

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。



――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

参加者募集

学生部 INFORMATION

第2回 北海学園大学

ビブリオバトル

10/6 十月祭の第1日目です！

14:00-16:00

場所: 図書館棟4階 アクティブ・エリア

募集対象: 学部生 ※院生、研究生、科目等履修生は除く

申込方法: メール biblio@hgu.jp

次の内容をメールに記入のこと ①学部 ②学科 ③学年 ④学生番号 ⑤氏名(ふりがな) ⑥参加希望の種類(発表者か司会者)

募集期間: 7月27日(金)～9月27日(木)

募集人数: 発表者15名程度/司会者3名

※定員になり次第締切とします

動画でビブリオバトルの流れを見たい方はコチラ→ 公式WEBサイトは <http://www.bibliobattle.jp/>

北海学園大学

フォトコンテスト2018

募集対象: 学部生 ※院生、研究生、科目等履修生は除く

募集内容: 授業、実習、研究活動、発表、サークル活動など 北海学園ならではの教育研究や課外活動の場面で活躍する学生、教職員、卒業生をとらえた写真。

応募部門 ①ゼミ・授業部門 ②課外活動部門 ③大学祭部門

応募方法: メール photocon@hgu.jp

各部門につき1人1枚まで応募できます。

1通のメールに写真1枚のみ添付のこと。

募集期間: 9月20日(木)～10月31日(水)

問い合わせ: 北海学園大学 学生部 TEL.011-841-1161

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

――入試課で特に力を入れている点は？
岡崎先生 3年後に始まる共通テストなどの入試改革への対応です。文科省の進める高大接続改革をふまえて、今年度中に大学の方針を出す必要があります。各学部での検討にもつき、全体をまとめていく予定です。
――学生へのアドバイスを。
岡崎先生 何かをやりたいと思ったら覚悟を決めなさいということ。覚悟のない人は、反対にあったり、上手くいかないと、今後このようなことが大切だと思いませんか？
西村先生 風通しがよく、働き甲斐のある職場づくりです。チームワークを重視しつつ、機関長である以上、組織の使命や方向性について明確な判断を示し、結果へのコミットを通じて、2年の職責を果たしたいと思っています。
――学生へのアドバイスを。
西村先生 自由な時間が持てる学生のうちに、できるだけたくさん海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。私自身も、海外を旅して、自分の視野や常識の幅を広げ、世界と向き合ってください。

